

国際化学肥料ニュース（2011 年 7 月）

肥料業界の 2011 年 7 月動態

- * カナダ Potash Corp の社長 W. Dell 氏は IFA (国際肥料工業会) の次期会長に当選した。Dell 氏は 1999 年から Potash Corp の社長を務め、2006 年から IFA の持続発展委員会の副委員長を務めてきた。
- * 4 月から国際肥料市場の尿素価格が 65% も上昇した。7 月中旬に中国メーカーが FOB440 ドル／トンの噂が市場に流れ、一時 10 ドル／トン以上の値下げが起きたが、その後、噂であると判明したため、元に戻った。供給面では、エジプトを除き、ほかの供給国の 7 月生産分はほぼ完売された。需要面では、インド IPL が 6 月に CFR550 ドル／トンで 60 万トン尿素を契約し、7 月 21～28 日にインド TSC も 100 万トン尿素の入札募集があり、尿素の需要が弱っていない。
- * 6 月下旬からりん安価格が上昇した。これは、中国が 6 月 1 日から非需要期に入ってもりん安の輸出価格が下がらないためである。ブラジルは MAP、インドは DAP が不足で、モロッコ OCP がブラジルに CFR700 ドル／トンで MAP の契約をしたに続き、ロシアは 8 月分の MAP について FOB680 ドル／トンを提示した。市場筋は 8 月以降もりん安価格が持続上昇の見方が多数占める。
- * 6 月に BPC、Canpotex が立て続け中国との間に下半期の塩化加里 CFR470 ドル／トンの契約を交わした。その後、Canpotex は 2011 年第 3 四半期の製品が販売済、第 4 四半期の製品もほぼ契約したこと、BPC も 8 月末までの製品が完売したと発表した。これを受け、Potash Corp は 7 月 1 日からアメリカ向けの塩化加里価格を 30 ドル／トン値上げと発表、東南アジアでは CFR550 ドル／トンに値上げされた。
- * ブラジル化学肥料の輸入が順調、1～5 月 730 万トンを入力し、国内需要量の 85.4% を占めた。6 月の輸入量が 116 万トン超、前年度より 25% 増加した。6 月の国内化学肥料販売量が 260 万トン、昨年同期より 53% 増加した。2011 年輸入量が 1700 万トンに達する予測。ただし、化学肥料の価格高騰が下半期の輸入にブレーキがかかる可能性がある。
- * この数年来、中国の尿素工業が急速発展してきた。2004 年まで尿素を輸入していたが、2005 年から輸出に転じ、2010 年に 703 万トンを輸出した。国内尿素生産能力は 2004 年には 4200 万トン、2010 年末現在 7000 万トン、世界最大となった。しかし、国内需要量は 5000 万トン前後で、生産能力の過剰が価格の上昇を抑圧し、企業の利益を圧迫

する。また、急速の発展により環境問題、資源問題等も誘発し、中国政府は 5 年以内に尿素メーカーを 5 大グループに集約束する考えを表明した。

- * アメリカ肥料研究所 (TFI) は北米の加里肥料生産、在庫と販売に関する調査結果を公表した。6 月の塩化加里生産量が 101.5 万トン (K₂O 換算量)、昨年同期より 44% 増、6 月末現在の塩化加里在庫量が 174 万トン (実量)、昨年同期より 27% 減、販売量が 129.8 万トン、昨年同期より 60% 増。なお、昨年 7 月から今年 3 月までの生産量が 1128 万トン、販売量が 1167 万トンであった。
- * 中国税関は 8 月 1 日から尿素的輸出最低申告価格を FOB440 ドル/トンから 470 ドル/トンに引き上げた。尿素最低申告価格とは、中国政府が尿素的輸出規制のため、非需要期関税期間に輸出者の尿素的輸出申告価格が一定以上にしなければならないという決定である。即ち、非需要期輸出関税が 7% と決めても、輸出申告価格が 470 ドルの場合、基準価格 (約 FOB326 ドル/トン) を大幅に超えたため、実質関税が 38% となる。これは輸出制限とメーカーの脱税を防ぐ対策である。実際に一部の大手メーカーは国外の子会社に安い価格で輸出し、国外の子会社が外国需要者に転売する手法をとり、輸出関税を過少に納める事例が出てきた。また、中国税関は DAP に対しても輸出最低申告価格を FOB630 ドル/トンに引き上げた。これに伴い、中国からの DAP 輸出がほぼ止まった。
- * ベトナム政府農業と農村発展省の発表によると、7 月に化学肥料輸入量が 30 万トンに達し、内訳は尿素 4 万トン、DAP 7 万トン、硫安 4 万トン、NPK 化成肥料 1.5 万トン。今年 1~7 月の化学肥料輸入量 210 万トン、金額 8.46 億ドル、昨年同期よりそれぞれ 31.8%、65.1% 増加した。

大手各社の営業業績

- * カナダ Potash Corp は第 2 四半期の営業業績を発表した。純利益 8.40 億ドル、昨年より 75% 増。

肥料プラント新規建設

- * 6 月 22 日、ロシア Eurochem 社はロシア南部に開発中の加里鉱山は 2013 年末生産開始と発表した。当該鉱山は 120 億トンの加里鉱石の埋蔵量を有し、塩化加里の含有量が 41% に達し、非常に良質のものである。鉱山のほか、230 万トン/年の塩化加里生産ラインも建設する。また、ロシア Volgograd にある加里鉱山の開発が順調で、予定通りに 2011 年末完成。当該鉱山は 10 億トンの加里鉱石埋蔵量を有する。230 万トン/年の塩化加里の生産ラインも建設中である。Eurochem 社はこの 2 ヶ所に計 60 億

ドルを投じ、2021年に塩化加里生産量が800万トンに達する。

- * アフリカナイジェリアの Dangote 社はイタリア Saipem 社とナイジェリア Edo 州に尿素工場の建設契約を締結した。当該尿素工場はナイジェリア Edo 州にあり、天然ガスを原料として 2200t アンモニアと 7700t 尿素／日の生産能力あり、2014 年完成予定。
- * BHP はカナダサスカチュワン州にある Jansen 加里鉱山に 4.88 億ドルの追加投資を決め、当該鉱山の総投資額が 12 億ドルとなった。当該鉱山の加里鉱石埋蔵量が 33.7 億トン、計画では 2015 年完成予定、年間 800 万トン塩化加里を生産する。また、BHP はサスカチュワン州ほかの地域にも加里鉱石の探索を続け、将来は 1600 万トン／年の生産能力に引き上げる予定。
- * マレーシア国家石油 (Petronas) は所属の化学子会社がサバ州に 120 万トン／年の尿素工場を建設する計画を発表した。2012 年 4～6 月に着工、2015 年に完成する予定、投資額 15 億ドル。現在 Petronas はサラワク州に 75 万トン／年、クダ州に 68.3 万トン／年の尿素工場を持っている。サバ州の工場が完成後、260 万トン／年の生産量を有する。
- * ブラジルのヴァーレ社は化学肥料子会社に Salitre プロジェクトのりん酸肥料工場の着工を許可した。Salitre 鉱山は年間 220 万トンりん鉱石を産出し、140 万トン／年の硫酸設備を備え、135 万トン／年の重過石と MAP を生産する計画。2014 年に完成、総投資額 12.5 億ドル。今年中に当該プロジェクトに 3.88 億ドルを投資する。
- * 中国は化学肥料生産過剰の局面に陥るにも拘らず、新規肥料工場の建設を続けている。先月に寧夏省銀川に 45 万トンアンモニア、80 万トン／年の尿素工場が着工し、2013 年完成予定。4 月に黒竜江省に 30 万トンアンモニア、52 万トン／年硝安工場を建設開始、2013 年完成予定。5 月に新疆に 30 万トン／年硝酸加里工場を建設開始、2013 年完成予定。
- * 7 月 30 日、中国とイランがイランに世界最大級の尿素と硫安工場の建設に着手した。生産能力が年間 400 万トン尿素と硫安、中国が 85%の資金を負担する。
- * オランダ Boskalis 社はニューランド CRP 社に海底瘤状りん鉱山の採掘分離回収技術と設計を提供する。Chatham Islands はニュージーランドの南島 Christchurch 市の東 450 km に位置し、磷鉱石が海岸から海底に約 4726 平方kmに埋蔵し、海面から最大深度 400 m。Boskalis 社はその探索、採掘、分離、回収及びニュージーランド南島にりん酸肥料工場を建設するのに必要な技術と設計を提供する。ニュージーランドは 2010 年りん鉱石輸

入量 89.27 万トン、そのうちモロッコから 50.28 万トンを輸入した。

- * ベトナム新聞報道によると、ベトナム化学工業（Vinachem）は 7 月 12 日に資金不足と用地買収問題により、化学肥料工場の完成が遅れると発表した。Ninh Binh 県にある生産能力 56 万トン/年の尿素工場が今年 12 月に完成する予定であるが、2012 年 1 月に延期する。また、DAP の第一生産ラインが完成したが、点検が遅れ、生産には至っていない。DAP 第二生産ラインも国際入札等の問題で、まだ建設に開始していない。

その他

- * 「モスクワタイムズ」の報道によれば、ベラルーシ大統領は国内の経済危機の対応に国営ベラルーシ加里の部分株式を中国に譲渡する可能性がある。譲渡金額は約 70 億ドル。ロシア Uralkali がベラルーシ加里の株式の買収を申し込みしたが、ベラルーシ大統領はロシアの影響を排除するため、中国に譲渡する考えを打出した。
- * EU は 7 月 13 日からロシアとベラルーシ産塩化加里に対する不当廉売関税を撤廃した。1990 年、EU はロシア産塩化加里に対して不当廉売の調査を開始し、1992 年からロシアとベラルーシ産塩化加里に対して不当廉売関税を徴収し始めた。しかし、EU 地域内の塩化加里生産量が落ち込み、輸入に依存することになったため、2011 年 6 月 10 日にロシアの要請に応じ、EU 委員会はロシア産塩化加里の不当廉売再調査を開始した。再調査期間中にドイツ K+S 等の加里メーカーが異議を提出しないため、不当廉売関税の撤廃を決定した。
- * アルゼンチン地方政府はブラジルヴァーレ社が加里鉱山開発に地元の雇用とアルゼンチン企業の受注に優遇措置を与えない理由として、その開発に一時停止を命じた。その後、ヴァーレ社は地元雇用を優先する約束を提示し、5 日後に停止命令を解除した。当該加里鉱山開発プロジェクトは投資額 59 億ドル、2016 年に塩化加里 210 万トン/年の 1 期工事を完成し、2023 年に塩化加里 220 万トン/年の 2 期工事を追加完成後、年間 430 万トンの塩化加里を生産し、350 万トンを主にブラジルに輸出する。
- * 中国今年上半期の化学肥料生産量は 3062 万トン（純含有量）、昨年より 8.3%増。その内訳は窒素肥料 2153.6 万トン（純 N 計算）、昨年より 2.3%増、内尿素 1336.8 万トン、昨年より 4.0%減。りん酸肥料 717.3 万トン（P₂O₅ 計算）、昨年より 29.8%増。加里肥料 191.4 万トン（K₂O 計算）、昨年より 17.4%増。
一方、1～5 月の中国国内販売量は 2533.1 万トン（純含有量計算）、昨年より 6.9%増。内訳は尿素 1082.1 万トン、0.03%減。りん酸肥料 531.2 万トン（P₂O₅ 計算）、18%増。加里肥料 289.4 万トン（K₂O 計算）、15.1%増。

輸入出状況は、1～6月に尿素 68.8 万トン、DAP64.2 万トン、重過石 93.5 万トン、硫酸 88.3 万トン、N,P 化成 72.2 万トン、N,P,K 化成 1.8 万トン、輸入は塩化加里 152.46 万トン。

- * ベトナムは黄燐の生産と輸出が大幅増。昨年ベトナムの黄燐生産量は 3.6 万トン、今年は 5.6 万トンに増加、ほとんど輸出される。ベトナム黄燐は中国品より 10%安いいため、すでにインド市場を席巻、日本市場でも輸入量の 50%に迫る。
- * 世界銀行はエジプト OCI 社に化学肥料生産ラインの増設ために 3.5 億ドルの融資を審議中、8月に決定と発表した。OCI はエジプトとオランダに窒素肥料工場を有し、アルジェリア Sofert 社の 51%株式を持っている。2010 年の生産能力はアンモニア 115 万トン、大粒尿素 130 万トン、硝安石灰 115 万トン、硝安尿素 20 万トン／年。もし、融資が成立すれば、OCI 社は生産ラインの拡張に着手、2012 年にアンモニア 195 万トン、大粒尿素 280 万トン、硝安石灰 145 万トン、硝安尿素 52.5 万トンに引き上げる。